

2019年11月度活動報告

◇機関会議等

- 1日 栃木県生協連創立50周年事業
上野千鶴子氏 講演会
- 5日 常務理事会
- 5日 協同組合交流会
- 18日 第4回くらし部会
- 26日 役員・幹部職員定期学習会
- 29日 理事長・専務会議
- 30日 ECO テック&ライフとちぎ2019

◇ネットワーク活動

- 12日 とちぎ消費者カレッジ(文星芸大)
- 28日 消費者カレッジ(作新学院大学)
- 19日 消費者ネットワーク幹事会

◇行政関連

- 7日(木) 栃木県次期プラン策定協議会

◇被災地支援、防災

- 3.11 被災地の情報発信
台風19号による被災地への支援

◇その他

- 21日 千葉県生協連創立70周年記念祝賀会
- 26日 日生協中央地連部会活動運営委員会
県連活動推進会議

〈適格消費者団体 NPO 法人とちぎ消費者リンク〉

- 13日 事例検討委員会
- 18日 事務局会議
- 19日 19日 消費者ネットワーク幹事会参加

以上

県連活動

1. 機関会議

- **11月1日(金)、創立50周年記念講演会を開催<341名参加>(第3回役員・幹部職員定期学習会を兼ねる)**

■演題:私の老後は私が決める

■講師:社会学者・東京大学名誉教授

ウーマンズアクションネットワーク(WAN)理事長

上野千鶴子氏

ベストセラー「おひとりさまの老後」の著書としても有名な、社会学者・東大名誉教授の上野千鶴子先生にお越しいただきました。満員の会場の中、暗くなりがちな人生終焉のテーマを明るく分かりやすくお話してくださいました。

既成概念として私たちを取り巻く社会や家、介護の常識。その中で漠然と自らの「老後」を考えていた多くの参加者にとって、最後まで自分らしく生き、望む最後を迎えるにはどうしたらいいのか、深く考える貴重な機会となりました。



- **11月5日(火)、2019年度第3回常務理事会を開催**

議題

【議決事項】次月度以降の活動計画及び決算報告承認

【協議事項】県連創設50周年記念事業計画

【報告事項】月度定例報告/沖縄研修の案内/2020年度機関会議予定/日本生協連中央地連報告及び会員報告交流

● **11月5日(火)、2019年度協同組合交流会を開催<12団体28名参加>**

2012年の国際協同組合同年を契機に、県内の協同組合関係者同士の交流を深めるため、年に1度交流会を実施しています。

今年度は栃木県の酪農について理解を深めるため、那須町にある「有限会社 那須高原 今牧場 K.I.LADY FARM」さんを訪れました。16haの敷地で成牛200頭・育成牛100等・和牛繁殖素牛30頭・肥育牛15頭・山羊50頭を飼育。2012年に牧場内にチーズ工房をオープンし、牛とヤギ乳のチーズ生産販売も行っています。



■日程…JAビル集合→今牧場→牛舎視察→チーズ工房視察→JAビルにて交流会

■参加団体

栃木県農業協同組合中央会／農林中央金庫 宇都宮支店／全国農業協同組合連合会 栃木県本部／全国共済農業協同組合連合会 栃木県本部／JA栃木女性会／栃木県農協青年部連盟／栃木県漁業協同組合連合会／栃木県森林組合連合会／中央労働金庫 栃木県本部／こくみん共済CO-OP〈全労済〉 栃木推進本部／栃木県労働者福祉協議会／栃木県生活協同組合連合会

● **11月26日(火)、2019年度第4回役員・幹部職員定期学習会を開催しました。**

■討論会・コーディネーター：栃木県生活協同組合連合会会長理事 竹内明子 氏



2019年度第1、2、3回の学習会を振り返り、討論会を行いました。参加者が事前に提出したレポートの発表、質疑応答、ワークショップを通して議論を深めました。

今までの開催内容	
7月26日 第1回	維持可能な社会を求めて 一平和・民主主義・環境－ 滋賀大学元学長・大阪市立大学名誉教授 宮本 憲一 氏
10月1日 第2回	戦後であり続けるための日本経済論 高崎経済大学経済学部 経済学科教授 矢野 修一 氏
11月1日 第3回	私の老後は私が決める 社会学者・東京大学名誉教授 上野 千鶴子 氏
11月26日 第4回	第1回～第3回 振り返り 討論会 コーディネーター 会長理事 竹内 明子 氏

● **11月29日(金)、2019年度理事長専務会議開催<10団体36名参加>**

栃木県生活協同組合連合会創立50周年記念座談会として、7月に下野新聞に掲載した記事と同様に、会員生協を代表する20代、30代の職員に参加いただき、座談会を開催。「生協の未来」をテーマに若手職員が想いを語り、組織の代表者が応答をする形で進められ、様々な気づきがありました。



■コーディネーター：栃木県生協連会長理事 竹内明子

■座談会参加者

- 1 栃木保健医療生活協同組合 早川 愛子 氏(生協ふたば診療所 外来看護師)
- 2 とちぎコープ生活協同組合 小林 友美 氏(壬生センター 共済推進担当)
- 3 ふれあいコープ 鈴木 萌 氏(特養・老人ホームみどりの樹ユニットリーダー)
- 4 宇都宮市職員生活協同組合 小森 尚美 氏(事務局)
- 5 よつ葉生活協同組合 木村 太一 氏(本部 管理部 経理担当)
- 6 パルシステム茨城 栃木 佐川 聖 氏(営業(仲間づくり)担当)
- 7 〃 〃 栃木 新田川 誠 氏(栃木エリア課長(兼)宇都宮事務所所長)
- 8 企業組合とちぎ労働福祉事業団 五十嵐 靖彦 氏(小山事業所 事業所長)
- 9 こくみん共済coop〈全労済〉 星野 巧生 氏(事業推進部事業推進課)

〈部会活動〉

● 11月18日(月)、第4回暮らし部会開催

11月1日開催の会創立50周年記念講演会「演題:私の老後は私が決める…社会学者・東京大学名誉教授 上野 千鶴子氏」参加者の感想、10/6開催の第14回うつのみや食育フェア、出展の振り返り、会員生協・日生協からの活動報告がありました。また、11/30に開催されるECOテック&ライフとちぎ2019の出展計画を行い、今年度の生協連統一テーマは「プラスチックを考える」とし、展示とクイズを行います。

● 11月30日(土)、ECOテック&ライフとちぎ2019に出展

生活クラブ生協、よつ葉生協、とちぎコープの3生協で構成する暮らし部会で出展しました。今年度は、生協連としての統一テーマを「プラスチックを考える」とし、各生協でパネル展示とクイズを出題しました。今年度は土曜日だけの開催となりましたが、県連ブースへは小さなお子さん連れのご家族など、約450名の方が参加され賑わいました。



ECOテック&ライフとちぎ2019 展示内容	
よつ葉生協	<p><u>マイクロカプセルはプラスチックからできています。</u></p> <p>いま、農薬や香料、洗剤・柔軟剤、医薬品、化粧品などさまざまな商品に、微小なプラスチック容器～マイクロカプセル～が使われています。</p> <p>繊維(衣類の蓄熱・吸熱)、塗料(蓄熱・吸熱・吸音など)、香りなどをマイクロカプセルに閉じ込める技術がどんどん進み、周りの生活用品のほとんどに使われるようになってきました。特に伸びているのは、農薬や除草剤、化学肥料などの農業用資材です。農薬成分をマイクロカプセルに入れ、徐々に環境中に放出することで、効果を長続きさせています。</p> <p>マイクロカプセルは成分を放出した後も環境中に残り続けます。例えば、洗剤や香料に使われたマイクロカプセルは下水を通して海にまで流れ出し、大気中に放出されたものは人の肺にまで入り込みます。</p>
生活クラブ生協	<p><u>生活クラブは、プラスチックの発生を抑制します</u></p> <p>生活クラブ生協では、「使い捨てるのではなく、資源を循環させて使うことが大切」であると考え、環境に対してさまざまなとり組みを行っています。そのひとつとして、ごみを減らす取り組み「グリーンシステム」を積極的に進めています。今回ご紹介した牛乳キャップの再利用では、キャップ1個で11gのCO2を削減することができます。</p>
とちぎコープ	<p><u>プラスチックのリサイクル、使用量削減の取り組み等</u></p> <p>とちぎコープで行っているプラスチックのリサイクル(トレー、ペットボトル、卵パックがどのような物になるのか)や再生プラスチック包材や植物由来プラスチック包材を使用した商品、プラスチックの使用量を減らした商品を展示し、来場者ができることを提案しお聞きしました。</p>



2. 行政関連

● 11月7日(木)、栃木県次期プラン策定協議会に出席

■ 議題

- (1) 次期プランの策定について
- (2) とちぎ元気発信プランの現状評価について
- (3) 時代の潮流ととちぎの課題について
- (4) 次期プラン等策定に係る県民意向調査結果等の概要について

3. その他

〈適格消費者団体 NPO 法人とちぎ消費者リンクの活動〉

13 日	事例検討委員会
18 日	事務局会議
19 日	とちぎ消費者ネットワーク幹事会参加

ネットワーク活動

1. とちぎ消費者ネットワーク

- 11月19日(火)。第4回幹事会を開催

幹事会学習会「幹事の小倉弁護士より、原野商法の現状について」を実施。数十年前に二束三文の原野を高値で買わされた被害者が、今度は原野を業者が買い取るという口実等で、再び詐欺被害にあっている現状についてお話しいただきました。その他の議題として「地方消費者行政強化作戦 2020～概要と消費者団体の役割～」、地方消費者行政市町アンケートの集約状況、とちぎ消費者カレッジ開催報告、参加団体からの報告等を行いました。

また、栃木市の消費生活センターが台風19号の浸水被害を受けて閉鎖となり、1月23日から栃木市役所本庁舎の中へ移転することについて、山田代表より情報提供がありました。

- 栃木県からの委託事業、とちぎ消費者カレッジを開催しました。

開催日	会場	講師・演題	参加者
第6回 11月12日	文星芸術大学	防ごう！若者の消費者トラブル ～スマホ・インターネットのトラブルを中心に 講師：弁護士 島菌 佐紀 氏	77名
第7、8回 11月28日	作新学院大学	大学生が知っておきたい契約知識～トラブル事例と対処法～ 講師：とちぎ消費者ネットワーク代表 山田 英郎 氏	363名

防災・被災者支援

1. 被災者支援の取り組み

- 台風19号による県内災害ボランティアセンターに協力し、ボランティア支援を行いました。

11月は以下の表のとおり、会員生協がボランティアが参加しました。

10月からの通算で、233名が参加しています。12月5、6日には、栃木市の避難所へ、炊き出しを実施する予定です。

	11/1 金	11/2 土	11/3 日	11/4 月	11/8 金	11/9 土	11/10 日	11/16 土	11/17 日	11/23 土	11/24 日	回数
宇都宮市		○										1
足利市		○		○		○						3
栃木市	○	○	○		○	○	○	○	○			8
佐野市		○	○				○	○	○	○	○	7
鹿沼市		○										1
かたやなぎ		○										1

- 11月7日(水)、3.11被災地の情報提供として、以下をホームページに掲載しました。

3.11を忘れない～被災のいま～ みやぎ生協・コープふくしまから宮城・福島のいまをお伝えします。第75回「ゆるやかなコミュニティが息づくオープンな集会所」～宮城県亘理町／西木倉災害公営住宅ふれあい喫茶～

栃木県生活協同組合連合会 2019年12月度以降の活動予定

2019年11月30日(土)

栃木県生活協同組合連合会

2019年12月度予定	
1 日(日)	台風19号被災地支援ボランティア
3 日(火)	中央地連組合員活動推進委員会
4 日(水)	消費者カレッジ(足利大学) 適格消費者団体 NPO 法人とちぎ消費者リンク事務局会議
5 日(木)	台風19号による避難所炊き出し(栃木市) 栃木県・食品安全セミナー
6 日(金)	台風19号による避難所炊き出し(栃木市) とちぎ消費者カレッジ(宇都宮大学)
8 日(日)	台風19号被災地支援ボランティア
9 日(月)	栃木県労働者福祉協議会 会長 吉成 剛 氏 ご来訪
10 日(火)	定例理事会 適格消費者団体 NPO 法人とちぎ消費者リンク理事会
11 日(水)	栃木放送番組審議会 消費者カレッジ(國學院大學栃木短期大学)
12 日(木)	とちぎ食の安全ネットワーク世話人会
13 日(金)	日生協中央地連大災協
17 日(火)	役員・幹部職員定期学習会
18 日(水)	消費者カレッジ(作新学院女子短期大学部)
2020年1月度予定	
6 日(月)	宇都宮市賀詞交換会 小山市賀詞交換会
9 日(金)	栃木県くらし安全安心課、保健福祉部、ご挨拶
14 日(火)	常務理事会 日生協賀詞交換会 日生協議案書検討会議
15 日(水)	日生協議案書検討会議
16 日(木)	適格消費者団体 NPO 法人とちぎ消費者リンク検討委員会
21 日(火)	とちぎ消費者ネットワーク幹事会
23 日(木)	栃木県生活協同組合連合会創立 50 周年記念祝賀会(12:30～ホテル東日本)
28 日(火)	日生協中央地連運営委員会 宇都宮市消費生活講演会
30 日(木)	とちぎ食の安全安心推進会議
31 日(金)	第6回理事・幹部職員定期学習会